

令和6年度

学生によるオレンジリボン運動

日本社会事業大学 実施報告書



実施主体 ボランティアサークル「オレンジクレヨン」

実施内容 オープンキャンパス・学校祭・学内図書館での啓発、小山市慰霊碑の訪問、小山市の高校生との交流、本学同窓会セミナーへの参加

①事前に取り組んだ内容

- ・メンバーのオレンジリボン運動への理解を深めるため勉強会を開き、運動のきっかけや他団体の活動を学んだ。また、しつけと虐待の違いについてディスカッションを行った。
- ・児童福祉関連の映画を鑑賞する会を開き、意見交換を行った。
- ・オープンキャンパスやセミナーで使用する資料や、アンケートを作成した。
- ・学校祭や図書館での啓発に使用する展示物を作成した。

②実施期間に取り組んだ具体的内容

オープンキャンパスでは、来場した高校生と保護者の方に、オレンジリボン運動について説明した。学校祭では啓発コーナーを作り、オレンジリボン運動の概要や189についてのポスターを、大人向けと子ども向けに分けて展示した。アンケートの結果から、来場した方が、オレンジリボンを知るきっかけとなったことが分かった。11月の児童虐待防止推進月間には、学内図書館にて児童福祉関連書籍のポップを作成し展示した。

小山市の高校生とオンライン交流会を開いたのち、ともに小山市の慰霊碑を訪問した。周辺の草抜きやお供えをし、代表者が祈りの言葉と黙とうを捧げた。佐賀県の県立高校で行われた同窓会セミナーでは、1年間の活動報告を通して、参加した同窓生や高校生にむけてオレンジリボン運動について伝えた。

③オレンジリボン運動を終えて…

今年度からサークルとなり、前年度の活動を継続しながらも、新しい活動に取り組んだ。新しい活動をするにあたり、他団体の活動が大変参考になった。今年度は学内での啓発に加えて、外部で啓発する機会もいただいた。アンケート等から、オレンジリボン運動を知ることから、児童虐待の現状や子育てを支える社会の在り方にまで理解が広まっていく様子をうかがうことができ、やりがいを感じた。また、勉強



会やオレンジリボン運動の実践を通して、メンバー自身の学びが深まった。仲間と協力しながら活動した時間は、貴重な経験となった。次年度もメンバーのペースを尊重しながら、さらに啓発活動へかを入れたいと思う。

